

# 数学

## <全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	6題
------	------	-------	----

### 解答形式

全問穴埋式

### 分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

### 出題の特徴

受験生を戸惑わせるような表現や設定が多い。和算などを題材にした平面図形の問題、立体図形の問題、計算力を要する問題が多い。

### 入試改革を踏まえた出題

問題VIで経済活動を題材にした問題が出た。

### その他トピックス

どの問題も計算力を要する。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
I	図形の性質	数学A	5つの円を含む三角形	標準
II	場合の数	数学A	ポーカーの役（ハンド）の場合の数	やや易
III	確率	数学A	面の色の推移	標準
IV	数列	数学B	隣接3項間漸化式 隣接5項間漸化式	やや難
V	空間座標	数学B	空間における曲面の内部にある直方体の体積	標準
VI	図形と方程式 微分	数学II	放物線と直線で囲まれた領域における最大問題（線型計画法）	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

難しい問題や見慣れない問題と典型的な問題が混在しているので、解きやすそうな問題から解いていくことが大切である。

一見すると見慣れないタイプの問題でも、題意をしっかりと読んで対応すると、よく知られている事柄であることに気づかされることも多い。

立体図形、平面図形（和算含む）、離散数学もよく出題されるので、この分野の問題もたくさんこなしておきたい。

要領よく解かないと計算の負担が重く時間的に解ききれないものが多い。計算力を鍛えるだけでなく数学的センスも磨いておきたい。